

Citation: Zakrzewska JM, Forssell H, Glennly AM. Interventions for the treatment of burning mouth syndrome. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2001, Issue 3. Art. No.: CD002779. DOI: 10.1002/14651858.CD002779.pub2.

CRG名: Oral Health

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 15 November 2004

Clib issue No.; N/U: 2008 issue 1; -

背景: 口腔の灼熱感の訴えは、他の疾患の症状や未知の病因が本来持っている症候と言われています。口腔灼熱症候群(口腔内灼熱症候群・バーニングマウスシンドローム・burning mouth syndrome(BMS): 本邦で使われる舌痛症(glossodynia)とほぼ同じと考えられる)の用語は、ももとの歯科または医科的な原因が同定されず、口腔内に所見がない患者に使われる。その特徴は、舌・口唇に局限した灼熱痛であり、さらに広範囲や口腔内全体に及ぶことはない。一般人口での有病割合の報告では、0.7%から15%とばらつきがある。それらの患者の多くが、不安症、うつ病、パーソナリティ障害であるとされている。

目的: 症状の軽減とQOLの改善のための介入とプラセボの比較による有効性と安全性の決定と、それらの研究の質を評価すること。

検索戦略: Cochrane Oral Health Group Trials Register(2004年10月20日)とCochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL, The Cochrane Library, Issue 4, 2004)とMEDLINE(1966年1月~2004年10月)とEMBASE(1980年1月~2004年10月)を検索した。Clinical Evidence Issue No. 10(2004年)と会議録と出版されている図書目録が、出版物の言語に関係なく、関連文献を同定するために検索された。

選択基準: 研究は、以下の基準に従って選択された。研究デザインは、治療とプラセボのランダム化比較試験(RCT)と比較臨床試験(CCT)。対象は、他にそのような症状のための歯科または医科的な原因がない口腔粘膜痛である口腔灼熱症候群の患者。介入は、プラセボコントロール試験で評価されている全ての治療法。主要な結果は、灼熱感・不快症状の軽減。

データ収集と分析: 論文は2人のレビューアは、適確性と抽出データの確認を独立してスクリーニングした。レビューアらは、研究が行われた状況をブラインドされてはなかった。選ばれた研究の質は、割付の隠蔽化、ブラインド、中止・脱落症例の取り扱い方法とくに注意を払って、2人のレビューアによって、別々に評価された。臨床的と統計学的な異質性のために、データの統計学的な統合は不可能であった。

主な結果: 9つの試験がレビューに含まれた。検討された治療法は、抗うつ剤(2試験)、認知行動療法(1試験)、鎮痛剤(1試験)、ホルモン補充療法(1試験)、 α リポ酸(ビタミンB群の一種)(3試験)、抗けいれん剤(1試験)であった。診断基準は、すべて明確でなかった。レビューされた9つの試験のなかで、口腔内の灼熱の症状を軽減したのは3つの治療(α リポ酸(3試験)、クロナゼパム(ベンゾジアゼピン系抗てんかん薬:リボトリール錠・ランドセン錠)(1試験)、認知行動療法(1試験))であった。それらの研究の2研究のみが、結果の評価をブラインドしていた。他の治療法は、口腔内の灼熱の症状を有意に軽減していなかったが、このことは、効果が真に欠如しているのではなく、試験デザインの手法的問題や症例数が少ないことによると考えられた。

レビューアの結論: 口腔内灼熱症候群は、慢性の疾患であることから、この状態に苦しむ人のために、治療の効果的方法を探す必要が、重要である。しかしながら、口腔内灼熱症候群患者の治療のための明らかなガイドランスとなるような研究のエビデンスはほとんどない。方法論的に質の高い、さらなる研究が、口腔内灼熱症候群による苦痛をもつ患者の治療法を確立するために行われる必要がある。

(翻訳 湯浅秀道・監訳 松香芳三; JCOHR)

翻訳公開日: 08年4月1日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。